

SPI活動事例紹介

2012-10-11
(株)東芝 社会システムインフラ社



東芝グループは、持続可能な
地球の未来に貢献します。

パネルディスカッション

- 進め方

- これから10年、20年とSPI活動を継続するためのポイントを、コーポレートの立場とカンパニーの立場に分かれて、お互いに意見を出し合いながら議論する

- パネリスト

- カンパニー

- 村上 雅俊((株)東芝 デジタルプロダクト&サービス社)
- 岸 利至((株)東芝 セミコンダクター&ストレージ社)
- 緒方 勝((株)東芝 社会システムインフラ社)
- 平原 嘉幸(東芝テック(株))
- 北村 秀生(東芝システムインフォメーションシステムズ(株))

- コーポレート

- 藤巻 昇((株)東芝 ソフトウェア技術センター)

- 議論の内容

- **テーマ1(各5分、計25分):各カンパニーにおけるSPI活動**

- 各カンパニーで開発している製品概要、SPI活動の特徴、今までの成果と課題、コーポレートへの要求や苦情

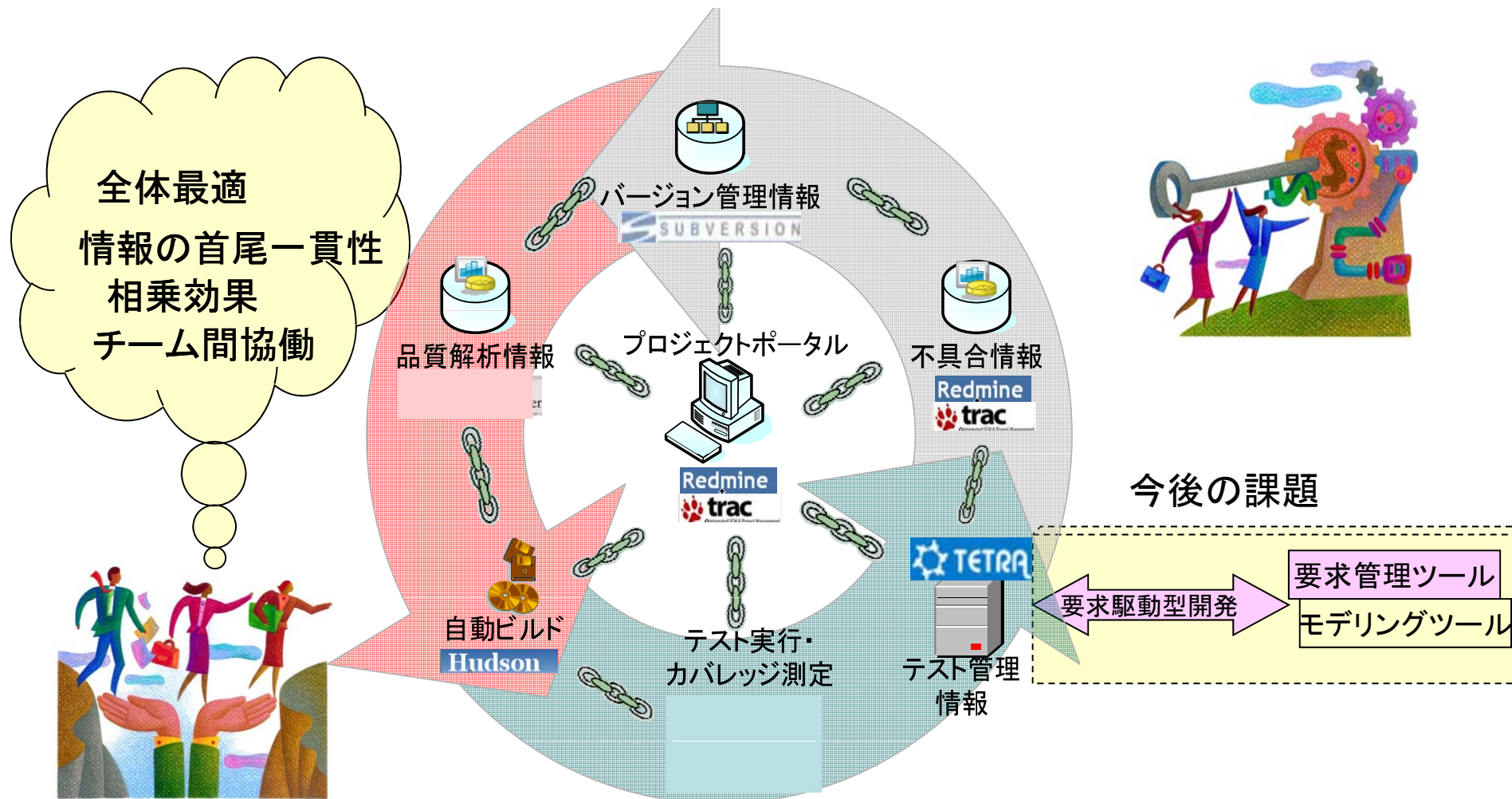
- **テーマ2(10分):コーポレートの立場から**

- コーポレートの立場から各カンパニーにチャレンジしたいこと、コーポレート側でチャレンジしなければいけないこと

- **テーマ3(10分):SPI活動を継続するために**

- 各パネリストから、20年先もSPI活動が継続しているための提言

活動内容: ツールチェーンでソフトウェア開発の効率化



それぞれのツールの情報がチェーン(鎖)のようにつながり、相乗効果を発揮していく。

コーポレートSEPGへの要求と苦情



要求

- ✓ ツールの提供が嬉しい→継続
- ✓ SPIコミュニティの形成ありがたい→継続
- ✓ 経営層との合意形成ありがたい→継続
- ✓ ToshibaEngineeringDocument布教活動→強化
- ✓ 関係エンジニアリング会社の巻き込み→強化
- ✓ エンジニア同士の触発(交流)→強化



苦情

- ✓ カンパニーSEPGへのサポート
- ✓ 情報発信と情報交流

今後20年先でもSPI活動を継続するために

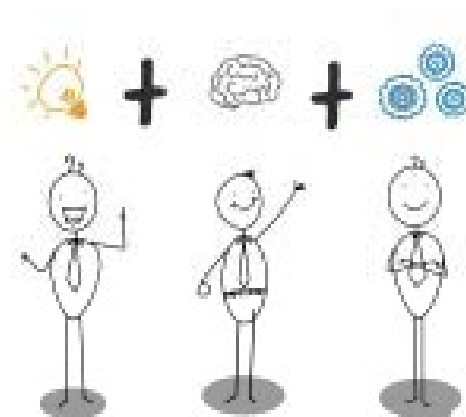
SPI人材の育成

- いつの間にか、みんないい年齢同じ顔
- エンジニアからのキャリアパス

3現主義

- 現場、現物、現実を忘れない
- 「ソフトウェア開発プロセス屋さん、机上の空論を述べるものだと思っていた。」と言われない

ソフトウェア開発力、創造力



TOSHIBA

Leading Innovation >>>